

2010年 秋のご挨拶



[意外な展開]

水煙会 会長 長崎駿二郎

本年3月18日の水煙会総会にて第七代会長に推挙され就任いたしました。

歴代の会長と比較いたしますと、浅学非才・軽佻浮薄につき誰が見てもそうですが本人自身も「会長の器」と思っておりません。総会の席でも「本当に私で宜しいのか？」と問い掛けましたが、時の流れは恐ろしいもので残念ながら「不適任！」という声は掛りませんでした。

どう見ても**[意外な展開]**としか思えませんが、結果約4000名の会員を乗せた巨大な船の舵取りをすることとなりました。

水煙会をご存じの通り40年程前に、横浜高等工業学校、横浜工業高専、同付設工業教員養成所と横浜国立大学工学部建築学科、同工業教員養成所を「横浜で建築を学ぶ者」同志と言う事で大同団結して発足いたしました。前半の20年は昭和の時代諸先輩の強い団結力もあり、隆盛を極めておりましたが、後半の20年は平成の時代で学校内の改組や改変と共に人数の増加もあり、多くの方々にとって徐々に水煙会が縁遠い存在になって来ております。

特に、ここ数年で初代吉原慎一郎会長、第二代田口武一会長、第三代長井善三郎会長、第四代小岩井直和会長、と次々に他界され、真に水煙会は支柱を失った状態となってしまいました。しかし一方では、西澤先生が**ブリツカ**—賞を受賞された事を始め水煙会の若い方々が日本で、あるいは世界で評価される活躍を次々と始めております。大変頼もしい限りで今まさに昭和から平成へ、20世紀から21世紀へと時代が変わり「水煙会も新しい時代へ」と変らなければいけない時期に差し掛かっていると考えております。

本年の干支は『寅』ですが、寅年は思わぬ事が起こると八卦の方では言われているようです。

これが当てはまるのかどうか知りませんが、サッカーワールドカップ南アフリカ大会で当初の下馬評と全く違い日本チームは決勝Tに勝ち進み、実質的には負けていませんからベスト8と言って良い位**[意外な展開]**になりました。

これは良い方へと転じた事例ですが、[意外な展開]であまり適材と言えない会長が就任した水煙会ですけど、是非これにあやかって、多くの方々から有意義で誇りを持てる同窓会へと変革していきたいと考えております。

皆様からの温かいご支援を受け「**新しい時代に適合する水煙会**」になりますように、全力で取り組んで参ります。引き続きどうぞご協力のほど宜しくお願い申し上げます。